

生涯学習に意欲的な大人を目指す 盤溪小のスキー学習

本校のスキー学習

本校では、大人になっても自信をもって楽しむことができるレベルでのスキー技能の習得を目指し、スキー学習での指導を行っています。

スキー技能の上達は、課題克服の体験を通して、豊かな人間性の形成にも好影響を与えます。また、スキーは人生を豊かにする「生涯スポーツ」であり、価値ある一生の趣味の獲得につながるスポーツです。

本校のスキー学習は「さっぽろばんけいスキー場」を利用しています。3学期に入ってから週に2～3回程度で**およそ13回のスキー学習**を実施しています。スキー学習は、1～2年生を3、4グループ、3～6年生を4、5グループに分け、技能別の指導内容で学習を進めています。

また、2月の宿泊学習では、縦割りグループや学年でのスキー学習を実施し、『**なかま意識**』を育てています。スキーを通して、教える・教えられるの関係や、ともに楽しむ生涯学習としてのスキー学習を目指しています。



自分のことは自分で...
1年生もがんばります！



ヘルメットの着用を推奨！



札幌らしい特色ある学校教育の推進

札幌市は、年間降雪量が6Mを超えるという環境にありながら、人口190万人規模の大都市であるという世界的に見ても稀有な街です。

この「雪」は札幌の大きな特色であり、「札幌らしさ」を学ぶための重要な教材であり貴重な財産です。

各学校では、体育の授業や特別活動の集団宿泊・遠足的行事、総合的な学習の時間などを活用しながら、スキー（スケート）にかかわる活動を設定するようにし、札幌らしさを全身で感じられる工夫をしていくことが求められています。

＜札幌市教育委員会 教育課程編成の手引きより＞

スキー学習参観日

本校では、特色ある教育を参観できる機会として、2月末に、スキー学習をスキー場にて参観する授業参観を設けています。



リフト乗降時には係の人に、毎回ていねいな挨拶やお礼を伝える習慣を大事にしています。

また、仲間を意識しながら楽しんで技術を習得していきます。『盤溪の子って素敵だね！』を合言葉に…。

ルールとマナー 「なかまづくり」



盤溪小が昔から取り組んできたスキー学習：大人になっても自信をもって楽しむことができるスキーレベルへ！

スキー学習を通して、課題克服・豊かな人間性の形成・生涯スポーツへと価値ある未来へ向かいます！

スキー学習の実施は、3学期に13回、技能別グループを編成し以下の基準と指導内容で学習を進めています！

また、学年やどんぐり学級でも一緒に滑ったり、アドバイスをしあう仲間づくりも進めています！



盤溪小スキー学習における技能別グループ編成基準

学年	グループ	目 標	技術達成の基準とグループ編成のめやす
中 高 学 年	かんむりわし	お手本となる ※各グループに出向く場合がある	・コブ斜面や急斜面などをパラレルターン【大回り、中回り、小回り】でスピード感をもって連続ターンで滑ることができる。 ・他グループに出向き、スキーについてアドバイスすることができる。
	おおわし	コントロール	・中・急斜面をパラレルターン【大回り、中回り、小回り】でスピードをコントロールして連続ターンで滑ることができる
	ふくろう	長くすべる	・平らな緩・中斜面をパラレルターン【大回り、小回り】でスピードをコントロールして長く滑ることができる。
	はやぶさ	楽しくすべる	・平らな緩・中斜面をプルークボーゲンなどで楽しく長く滑ることができる。
低 学 年	きたきつね	コントロール	・中・急斜面をパラレルターン【大回り、中回り、小回り】でスピードをコントロールして連続ターンで滑ることができる
	くろてん	長くすべる	・平らな緩・中斜面をパラレルターン【大回り、小回り】でスピードをコントロールして長く滑ることができる。
	ゆきうさぎ	安全にすべる	・平らな緩・中斜面をプルークボーゲンなどで楽しく長く滑ることができる。
	おこじょ	安全にすべる	・スキーをもってスキー場に行くことができる。リフトに乗ることができる。 緩斜面を安全に滑ることができる。

◆ 判定基準 (スキー学習の初日、中日の2回実施 ⇒職員で検討後 ⇒発表は次の日とする)

※上記の『盤溪小スキー学習における技能別グループ編成基準』に添って、教師集団が下記のような観点で総合的に判断する。(グループによっては、存在しない場合やグループ内でABCなど複数存在する場合がある)

※スキー級別テスト取得については、グループ編成の参考とする。

*技能判定としての観点

- ・様々な斜面への対応力(不整地、急・中・緩斜面など)
- ・スキーの操作の仕方(パラレルターン、プルークボーゲンなど)
- ・ターン(数、大きさ：大回り、中回り、小回り)のさせ方とスピード感
- ・滑走中の身体の安定性と積極性 ほか



昔から続いてきたグループ編成の観点を今の盤溪小の子どもたちの育ちや新しいスキー技術、アルペンスキーの技術などを受けて、年々、加除修正しながら、進化させています！

*スキー学習としての観点

- ・スキー学習に向かう態度(挨拶、並び方)、仲間とともに学習する態度
- ・スキー学習への学ぶ意欲
- ・インストラクターなど専門家からスキー技術を学ぶ姿勢 ほか

